

令和7年度の事業報告

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人
バーチャルメディア工房ぎふ

1. 事業の成果

令和7年度は、ワーカー応募者は8名あり、新たに1名のワーカー登録があった。昨年度ワーカー数は8名となった。受注業務は平年並みにあったが金額的には昨年より減額となった。

在宅で請負という働き方を支援する当法人において、ある程度の仕事をこなせる技術を有することを必要としているが、ワーカー応募者には技術不足の面があり、ワーカー登録に至らないことが多い。在宅にて技術を身に付けることは容易ではないが、eラーニングで学ぶなどの本人の努力も必要である。当法人から技術支援を現ワーカーにも行っているが、技術支援スタッフ不足（現在も1名）もあり、ワーカー以外の支援は難しいものとなっている。公的（福祉的）なeラーニングの場が期待されるものである。

依然、障害者雇用の多様化、障害者の仕事に対する思いへの多様化が進むなかではあるが、障害当事者による運営を行なっている当法人としては、社会参加、社会貢献への同じ思いのある障害者への支援活動を継続できたことの意義は大きいと考える。しかし、ワーカーも支援する側も、若い人材、新しい人材が入ってこない現状もある。運営スタッフの高齢化、健康面で心配があり、現状の拡大・発展、運営にも少なからず影響が出てきている。

AI時代に突入し、社会はホワイトカラーの仕事が減少すると言われる中では、重度の障害者にはますますできることが減ってくると考えられる。ブルーカラーの仕事は無理である。障害者のみならず、生き方や働き方、働く意味が問われる時代になってきた。障害者の職域を見出し、働くことや社会参加、やりたいことを実現することの支援を考えていくことになってくる。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額(概算) (単位:千円) 10,782																														
1 就労支援事業 ① 障害者の経済的自立を支える就労支援事業 ④ 障害者の実務教材による就労指導と技術サポート事業	1) バーチャルメディア工房事業 (1) 在宅就業障害者(登録ワーカー)の募集並びに選考 ① 募集 今年度も、登録ワーカーの募集・選考にあたり、従来からの選考基準を大きく変えることなく一人でも多くの障害者が就労(業)の場に参加出来るよう普及・啓発・広報活動に努めた。選考過程での面接にオンラインによる実施も含め対応をした。 ② 応募・選考状況 <R7.4.1~R8.3.31> (名) <table><tr><td></td><td>身体</td><td>知的</td><td>精神</td><td>難病</td><td>計</td></tr><tr><td>問い合わせ</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td><td>8</td></tr><tr><td>選考試験</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td></tr><tr><td>登録者</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td></tr><tr><td>予備軍等</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> ※ On-Line にて面接を実施 (2) 登録ワーカーに関する相談及び研修 相談及び研修の実施に当たり、 ・実務を通し業務を行う中、浮かび上がってくる課題への対応とサポート ・社会の動向にあわせ必要な技術の習得のための研修の実施 ・企業や他機関・団体等との共同・協同・協働の考え方の必要性に対し、登録ワーカーのマネジメント能力の育成を軸に取り組みを実施。 ① 定例ミーティングの開催(オンラインにより実施) 業務内容・業務の遂行、ワーカー間の交流・情報交換等を目的に開催 ② 研修・勉強会の開催(オンラインにより実施) ・第1回「生成AI」の活用に関する学習会(R7.6.26) ・第2回チラシ・ポスターデザインについて考える(R8.2.26) (3) 就労管理業務 ・業務の受託(県・市・町・村、社協・関係機関、企業、他の援団体等) ・登録ワーカー等への業務の受注から配分、管理・納品等実務を通し、スキルアップをはかるための指導・技術的サポートを実施。 ※今年度も、受注内容により発注者との業務打合せの場に担当ワーカーにも参加、発注者がみえる形で業務に対応できるよう進捗管理・指導・サポート面での対応を強化・充実		身体	知的	精神	難病	計	問い合わせ	2	3	1	2	8	選考試験	1	—	—	—	1	登録者	1	—	—	—	1	予備軍等	—	—	—	—	—	(A) 随時 (B) 法人事務所 (C) 3人 (A) R7.4.1~R8.3.31 (B) 法人事務所 (C) 2人 (A) 随時 (B) 法人事務所及びワーカー自宅ほか (C) 2人 (A) R8.1.29・R8.3.26 (B) 法人事務所 On-Line (C) 2人 (A) R7.5.28、6.26、8.28、10.23、12.25、R8.2.26 (B) 法人事務所及びワーカー自宅 (C) 2人 (A) 左記の通り (B) 法人事務所及びワーカー自宅 (C) 2人 (A) 随時 (B) 法人事務所・職員自宅並びにワーカー宅 (C) 2人	(D) 就労(業)を希望する障害者 (E) 不特定多数 (D) 在宅ワーカー希望者 (E) 1名 (D) 法人に登録する在宅ワーカー (E) 10名+α (D) 新規登録在宅ワーカー (E) 1名 (D) 在宅ワーカー (E) 出席者4~7名 (D) 在宅ワーカー (E) 7名 (D) 登録在宅ワーカー・社会参加・職業的自立を目指す障害児者&家族・支援機関・団体・行政担当者ほか (E) 不特定多数	4,881
	身体	知的	精神	難病	計																													
問い合わせ	2	3	1	2	8																													
選考試験	1	—	—	—	1																													
登録者	1	—	—	—	1																													
予備軍等	—	—	—	—	—																													

	し、ワーカーのスキルアップにつながるよう努めた。 受注業務（ワーカーへの発注案件）：11 件 〃 （法人として扱った案件）：15 件 (4) 相談・支援・指導業務 ① 障がい児者・家族・保護者等からの雇用・就労、生活全般に関する相談（自助具等もの作り支援の橋渡しを含む）／36 件 ② 事業所等からの障がい者雇用、採用後の人事管理面における対応、在宅就業等に対する 相談への対応とサポート／12 件 ③ その他（特別支援学校・行政・大学・機関・団体・支援者）からの問い合わせ及び相談／18 件 ④ ICT/A/Tに関する相談・支援（含、企業・研究機関からの開発参加に関する相談等）／15 件 2) 在宅就業支援団体（厚生労働大臣登録 2100001号）としての活動 (1) 就労管理業務 障害者の雇用・就労、在宅就業等に対する相談への対応とサポート (2) 厚生労働省との調整・連携と情報交流 (3) 全国の支援団体との情報交換と連携の強化 ・「障がいのある方の全国テレワーク推進ネット」への参加と連携・協力 定例 On-Line 会議への参加（R7.4.22） (4) 障害者の在宅就業支援を始めようとする機関・団体等からの問い合わせや相談、見学等の対応 (5) その他 ①「障害者優先調達推進法」（厚生労働省 H25.4.1.施行）の普及・啓発活動 ② 在宅就業支援団体（厚生労働大臣登録 2100001）の普及・啓発活動	(A) 随時 (B) 法人事務所・職員自宅並びにワーカー宅 (C) 2人 (A) 随時 (B) 法人事務所ほか 相談者の指定場所 (C) 2人または外部機関・支援者 (A) 随時 (B) 法人事務所ほか (C) 2人+ 国・県・連携団体・支援企業ほか	(D) 在宅ワーカー (E) 4～5名 (D) 就労始め社会参加・自立を目指す障害児者と家族・支援・事業主ほか (E) 不特定多数 (D) 就労始め社会参加・自立を目指す障害児者と家族・支援機関・団体ほか (E) 不特定多数	
2 人材育成事業 ② 障害者のIT活用による社会参加の支援と人材育成事業	特別支援学校への協力・情報提供 ①受託業務を通して（県）特別支援学校体育連盟等への支援・協力	(A) 随時 (B) 法人事務所及び電話 (C) 2人+α	(D) 職業的自立・社会参加を目指す障害者 (E) 不特定多数	1, 686
3 サポート事業 ③ 障害者の在宅就労に関する情報提供と助言指導事業 ⑤ ノーマライゼーション社会実現のための普及活動事業 ⑦ 障害者の就労と生活基盤の確保のための支援協力事業	(1) 岐阜県障がい者技能競技大会への協力とスタッフの派遣 (2) 「福祉機器の研究開発分野におけるA I」 「生活環境のスマート化を考える」検討委員会 (3) 言語聴覚士による「頭脳損傷者と嚥下に関する調査研究」協力 (4) 岐阜聖徳学園大学学生の卒論 「伝統無形文化財保存と観光地のバリアフリーについて」協力・相談対応 (5) 岐阜県ユニバーサルツーリズム普及・推進セミナー「逃げるバリアフリー」 ～災害が起きた時の要援護者への緊急時の対応～ 開催 (6) 重度障害当事者（若手有志）による、 居宅介護サービス事業提供のための起業化に向けた勉強会（オブザーバー参加）	(A) 5.27開催時（含、事前打合せ・会議） (B) ソフトピアジャパン (C) 1人 (A) R7.7.23-24 (B) On-Line ⇄ 会場 (C) 1人 (A) R7.7.23-24 (B) アンケート/法人事務所 (C) 1人 (A) R7.7.11、11.6 (B) On-Line ⇄ 会場 (C) 1人 (A) R8.2.10 (B) 下呂市民会館&オンライン (C) 3人 (A) R8.2.2、2.12、2.27 (B) 十六プラザ会議室 (C) 1人	(D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族、支援者・教員ほか (E) 不特定多数 (D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族、支援者・教員ほか (E) 不特定多数 (D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族、行政・教育・医療学生・支援者ほか (E) 不特定多数 (D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族、支援者・行政ほか (E) 不特定多数 (D) 自治体・観光・宿泊事業者ほか (E) 60名ほど (D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族、行政・教育・学生・支援者ほか (E) 不特定多数	2, 529

	(7) 福祉メディアステーションAI講座 講師・ピア相談会	(A) R8.3.1 (B) 高山市福祉センター (C) 2人	(D) 一般障がい者 (E) 5名	
4 研究開発参画事業 ⑥ 障害者のためのIT社会構築支援と研究開発参画事業	(1) 《第1回 ICT 利用支援会議》 テーマ：地域の担い手と連携について (2) リハ工カンファレンス in 東京 企画第二弾プレカンファレンス シンポジウム「アクセシブルなプロダクトデザインとは」 (3) 東大先端研「超短時間雇用シンポジウム 2025 首長と考える — 新しい働き方で拓く インクルーシブな未来」 (4) 高松大学発達科学部の「就労支援に於ける生成AIの活用の現状に関する調査」	(A) R7.7.10 (B) On-Line ⇄ 会場 (C) 1人 (A) R7.7.12 (B) On-Line ⇄ 会場 (C) 1人 (A) R7.7.25 (B) On-Line ⇄ 会場 (C) 1人 (A) R7.8.15 (B) On-Line ⇄ 会場 (C) 1人	(D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族、行政関係者支援者、教員ほか (E) 不特定多数 (D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と支援者、研究者・企業ほか (E) 不特定多数 (D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族、事業所企業・自治体関係者・支援者ほか (E) 不特定多数 (D) 職業的自立・社会参加を目指す障がい者家族、就労支援機団体職員、宿自治体職員・教員・学生ほか (E) 不特定多数	8 4 3
5 普及啓発事業 ⑧ 法人活動推進のための普及啓発事業	1) 広 報 (1) ホームページ並びに Facebook 上での情報提供 2) 社会資源整備に向けた調査・聞き取り・見学等の受け入れ、障害者の雇用・就労に関する会議・研修、アンケート等への参加 (1) 「親亡き後」を考える、障害児をもつ親の会」の定期勉強会 (2) (再掲) 高松大学発達科学部の「就労支援に於ける生成AIの活用の現状に関する調査」 (3) 北海道札幌市・手稲養護学校三角山分校（病弱特別支援）高等部3年生生徒の「大学受験を機に一人暮らしを始めるための情報収集のためのアンケート調査」協力 ・障害当事者向け「障がい者の生活と福祉サービス利用に関するアンケート」 ・一般向け「福祉に対する意識調査アンケート」 ・福祉事業者向け「福祉サービスを未来へつなぐための支援体制に関するアンケート」 (4) 岐阜県身体障害者福祉協会「ふれあいアートステーション」応募作品審査会	(A) 随 時 (B) 法人事務所 (C) 2人+α (A) R8.2.12、2.27 (B) 法人事務所 (C) 1人 (A) R7.8.15 (B) On-Line ⇄ 会場 (C) 1人 (A) R7.6.6、8.20 (B) 法人事務所 (C) 1人 (A) R8.3.5 (B) 岐阜県福祉・農業会館 (C) 1人	(D) 職業的自立・社会参加を目指す障害児者と家族・支援者、教員・企業ほか (E) 不特定多数 (D) 障害児者と家族福祉関係・支援機関・団体、企業一般県民ほか (E) 不特定多数 (D) 職業的自立・社会参加を目指す障がい者家族、就労支援機団体職員、宿自治体職員・教員・学生ほか (E) 不特定多数 (D) 障害児者と家族福祉関係・支援機関・団体、一般ほか (E) 不特定多数 (D) 障害児者と家族福祉関係・支援機関・団体、企業一般県民ほか (E) 不特定多数	8 4 3
その他 <法人運営>	1) 会議等の開催 (1) 総 会 1 回 (R7.5.28/on-line) (2) 理事会 1 回 (R7.5.13) (3) 会 議 スタッフ会議 毎週1回 (4) 在宅登録ワーカー定例ミーティング【再掲】 年6回/隔月第4木曜日（オンラインにより実施） 2) 情報収集・連携業務（会議・研修・催し等への参加） (1) 研 修 (on-line 開催への参加) ① 全障テレネット on-line 会議1回【再掲】 (2) 会 議 ① 福祉メディアステーション運営協議会 (R7.5.30、R8.3.25) ② 福祉メディアステーション運営会議 (R7.6.23、R7.9.29、R8.3.26)	(A) 左記のとおり (B) ソフトピアジャパン 会議室 (C) 2人+α (A) R7.4.22 (B) 開催地とon-line (C) 1人 (A) 左記のとおり (B) ソフトピアジャパン10階会議室、on-line (C) 1～3人	(D) 法人・役員・会員登録ワーカー (E) 不特定多数 (D) 障害児者支援者・企業・団体ほか (E) 不特定多数 (D) 法人・役員・会員登録ワーカー (E) 不特定多数	

以上

活 動 計 算 書

自 令和7年 4月 1日 至 令和8年 3月31日

特定非営利活動法人バーチャルメディア工房ぎふ

[税込] (単位: 円)

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費	62,000	
賛助会員受取会費	0	62,000

【事業収益】

受託事業収益		12,439,656
--------	--	------------

【その他収益】

受取 利息	7,476	
雑 収 益	0	7,476

経常収益 計

12,509,132

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給料 手当(事業)	4,560,576
職員諸手当 (事業)	481,364
法定福利費(事業)	417,707
福利厚生費(事業)	30,240
人件費計	5,489,887

(その他経費)

諸 謝 金	239,894
労務費 (事業)	2,218,302
印刷製本費(事業)	256,180
会場費 (事業)	17,612
会 議 費(事業)	32,489
旅費交通費(事業)	307,030
通信運搬費(事業)	97,408
新聞図書費 (事業)	22,704
消耗品 費(事業)	67,346
インターネット関連費 (事業)	537,311
水道光熱費(事業)	361,029
共益費 (事業)	796,877
賃 借 料(事業)	274,538
リース料	(105,578)
駐車場代	(168,960)
渉 外 費 (事業)	14,728
租税 公課(事業)	10,697
支払手数料(事業)	38,015
その他経費計	5,292,160

事業費 計

10,782,047

活動計算書

自 令和7年 4月 1日 至 令和8年 3月31日

特定非営利活動法人バーチャルメディア工房ぎふ

[税込] (単位: 円)

【管理費】

(人件費)

給料 手当	1, 140, 144
職員諸手当	120, 320
法定福利費	104, 436
福利厚生費	7, 560
人件費計	<u>1, 372, 460</u>

(その他経費)

諸 謝 金	20, 000
労務費	274, 980
印刷製本費	6, 160
会場費	168
会 議 費	4, 738
旅費交通費	38, 236
通信運搬費	21, 170
新聞図書費	5, 676
消耗品 費	13, 025
水道光熱費	94, 414
共益費	199, 239
賃 借 料	68, 629
リース料	(26, 389)
駐車場代	(42, 240)
渉 外 費	3, 685
租税 公課	2, 673
研 修 費	7, 000
支払手数料	7, 745
慶 弔 費	5, 000
その他経費計	<u>772, 538</u>

管理費 計

2, 144, 998

経常費用 計

12, 927, 045

当期経常増減額

△ 417, 913

【経常外収益】

経常外収益 計

0

【経常外費用】

経常外費用 計

0

税引前当期正味財産増減額

△ 417, 913

当期正味財産増減額

△ 417, 913

前期繰越正味財産額

6, 081, 645

次期繰越正味財産額

5, 663, 732

貸借対照表

特定非営利活動法人バーチャルメディア工房ぎふ
全事業所

〔税込〕(単位:円)
令和8年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	1,557,578
普通 預金	3,035,461	預 り 金	9,988
定期 預金	1,699,717	流動負債合計	1,567,566
現金・預金 計	4,735,178	負債合計	1,567,566
(売上債権)		正 味 財 産 の 部	
未 収 金	2,496,120	前期繰越正味財産	6,081,645
売上債権 計	2,496,120	当期正味財産増減額	△ 417,913
流動資産合計	7,231,298	正味財産合計	5,663,732
資産合計	7,231,298	負債及び正味財産合計	7,231,298

財 産 目 録

特定非営利活動法人バーチャルメディア工房ぎふ
全事業所

[税込] (単位: 円)
令和8年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

普通 預金

3,035,461

(3,035,461)

定期 預金

1,699,717

現金・預金 計

4,735,178

(売上債権)

未 収 金

2,496,120

受託事業収益

(2,496,120)

売上債権 計

2,496,120

流動資産合計

7,231,298

資産合計

7,231,298

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金

1,557,578

社会保険

(39,572)

事業経費

(875,739)

給与等

(642,267)

預 り 金

9,988

給与源泉税

(9,988)

流動負債合計

1,567,566

負債合計

1,567,566

正味財産

5,663,732

(法第 28 条第 1 項関係)

前事業年度の年間役員名簿

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 3 1 日まで

特定非営利活動法人 バーチャルメディア工房ぎふ

役職名	氏 名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	一本木一裕		令和 7 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで	報酬なし
副理事長	上村 数洋		令和 7 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで	〃
理 事	井村 保		令和 7 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで	〃
理 事	古田 稔幸		令和 7 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで	〃
理 事	篠田 義人		令和 7 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで	〃
理 事	柏木 真司		令和 7 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで	〃
監 事	森 聡美		令和 7 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで	〃

(法第 28 条第 1 項関係)

令和 7 年度の社員のうち10人以上の者の名簿

令和 8 年 3 月 3 1 日現在

特定非営利活動法人バーチャルメディア工房ぎふ

氏 名	住所又は居所
平田 英毅	
苅谷 久爾	
青山 知幸	
古川 カヨ	
中根 啓如	
山家 潤	
黒田 智子	
古川 美月	
上村 数洋	
篠田 義人	
一本木 一裕	